

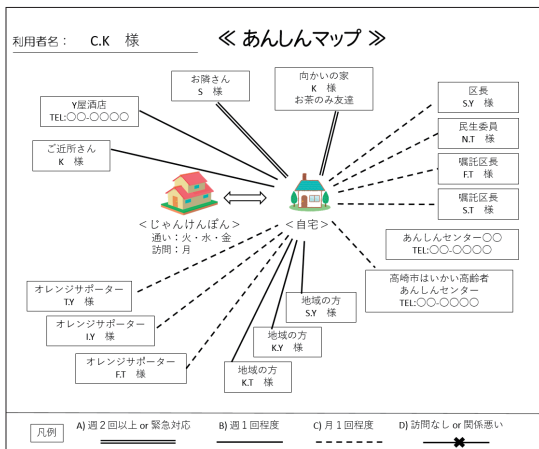
## 介護職員とボランティアの連携で 「住み慣れた暮らし」を支え続ける!!

「介護が必要になっても自宅で私らしく暮らしたい!!」介護職員が介護サービス。地域の顔見知りのボランティアさんが生活支援を。お互い連携することで、それは実現できます。決して夢物語ではないのです。

### 介護職員とボランティアの連携で 「住み慣れた暮らし」を支えつづける!!

じゃんけんぽんでは、介護事業の利用開始とともに、お友達などこれまでに関係がある方や、地域で支えてくれているお店や人を書き込んだ「あんしんマップ」を、利用者さん一人一人につくっています。

最初は真っ白なあんしんマップが、利用者さんとの関係が深まるごとに埋まっていき、少しずつ暮らしやその方らしさが見えてきます。その方の人生で積み重ねてきた関係が切れてしまわないよう、地域と協力して支えるのがじゃんけんぽんの介護です。



	小規模多機能の家 じゃんけんぽん 回府	小規模多機能の家 じゃんけんぽん 様高	小規模多機能の家 じゃんけんぽん 大判町前橋	複合型サービス じゃんけんぽん 観音寺	看護・小規模多機能の家 じゃんけんぽん ぼん金井沼
利用者数	24人	17人	28人	26人	25人
職員数 (定数+非常勤)	19人	18人	20人	25人	21人
サポーター数	24人	17人	50人	15人	27人



様々な病気を患いながらも独り暮らしを続けるFさんは、電話を持っていません。体調が悪いときには部屋の壁を叩きます。そんな時、お隣に住むKさんは、すぐにかけて様子を見て、じゃんけんぽんに連絡していただきます。



被害妄想等でご近所トラブルをかかえたCさん。

散歩が好きで、職員や家族と近所の散歩を続けてきました。散歩をしながら、あんしんマップを活用して地域の方と交流を重ね、サポーターさんを探すこと半年。地道な活動と、何回かの地域ケア会議を重ねた結果開催されたのが、地域のお散歩会。地域包括支援センターと介護事業所の協働で実現しました。今はまだ、職員が週1回散歩支援をしていますが、今後、このお散歩会を発展させて、地域の「おさんぽボランティア」として、Cさんをはじめとする地域の高齢者の散歩の同行と見守りの活動が始まる予定です。



同じ地区に住む  
2人の利用者さん  
と職員が参加



「色々できないことがあるけど、住み慣れた家で気ままにのんびりすごしたい」というのがKさんの願い。娘さんもできるかぎりと望まれています。アパートのお隣に住むYさんは、Kさんが自宅にいる時は常に見守りをしてくださっています。壁1枚隔てただけのお部屋ですから、家の中で杖をついて歩く音やトイレの音など生活音が聞こえるそう。いつも空いている窓から様子を見たり、心配な時はすぐにじゃんけんぽんに電話で知らせてくださいます。最近、早朝や夕方外に出ることが増えたKさんですが、Yさんは「近くの公園くらいなら私でも行けるから」と一緒に公園に行ってくださいていることもあります。



認定NPO法人じゃんけんぽん

群馬県高崎市棟高町954-8  
TEL 027-350-3191  
<https://www.jankenpon.jp/>

